

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和6年12月16日（月）

2 確認箇所

5、6号敷地護岸ヤード（ALPS処理水希釈放出設備・放水立坑）（図1）

3 確認項目

放水立坑（上流水槽）点検作業の状況

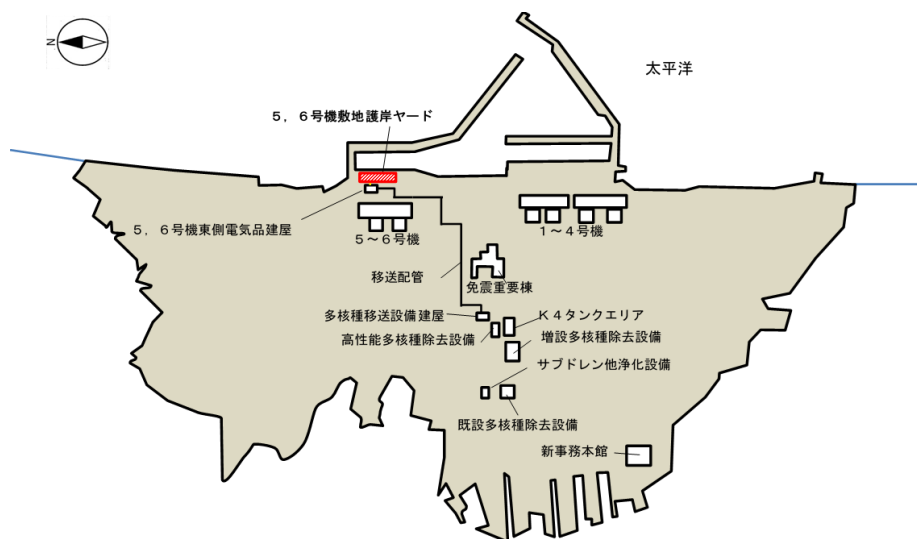
4 確認結果の概要

多核種除去設備等処理水（以下「ALPS処理水」という。）は、海水でトリチウム濃度を1,500 Bq/L未満まで希釈し、海洋に放出している。希釈に用いる海水には貝類などの海生生物や土砂が含まれており、ポンプや配管等の設備のトラブル要因となるため、定期メンテナンスが必要となる。

このため東京電力では、第10回目（10月17日）のALPS処理水放出後に設備のメンテナンスを実施している。

本日は、ALPS処理水希釈放出設備のうち放水立坑（上流水槽）の点検作業の状況について確認した。（前回確認日：[令和6年12月3日](#)）

- ・当日は、上流水槽底部に施工された防水シートの補修作業（不具合のある部分の切除）が行われていた。（写真1）。
- ・希釈に用いる海水を汲み上げるポンプ及び配管も取り外され、詳細な点検が行われていた（写真2）
- ・確認した範囲において、除去物の飛散及び流出並びに上流水槽の健全性に影響を与える損傷はなかった。



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1①)補修作業の状況



(写真1②)切除された防水シート



(写真2①)取り外された海水移送ポンプ



(写真2②)取り外された配管

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常値は確認されなかった。